

海洋教育子どもフォーラムinおおむた開催!

1月26日(金)九州の海洋教育促進拠点である海洋教育パイオニアスクールの児童が、学習成果を交流し、「海と人との共生」についての考えを深めるために、「海洋教育子どもフォーラムinおおむた」が開催されました。その様子を紹介します。

大牟田市立天領小学校

『大牟田の宝「有明海」と世界遺産「三池港」に学ぶ海洋教育』



大牟田市立みなと小学校

『三池港に学ぼう、有明海の世界、「地域」「世界」とのつながりを考える』

大牟田市立天の原小学校

『川・海のとつながりから環境問題を考えよう』
(野間川環境調査隊)



玄海町立玄海みらい学園

『未来につなげたい私たちの宝～棚田と海～』
佐賀県の玄海みらい学園からは、美しい棚田を守る取組が報告されました。先祖代々引き継いできた生活の知恵を後世まで伝えるために自分たちにできることを考えた実践でした。



南さつま市立坊津学園

『魅力あふれる坊津の海～人にも生きものにも豊かな環境～』

鹿児島県の坊津学園からは、「坊津学」として町をあげて、町と海との関わりについて学ぶ様子や博物館との連携について報告がありました。

★各校の発表後、東京大学の及川幸彦先生からは、「自然の神秘や不思議さに目を見張る心をもってほしい。」とのコメントをいただきました。次号では、東京大学での市内3校の発表について、紹介します。



大牟田市立高取小学校の実践

「心のキャッチボール」を通して

本校の4年生は、校区内にある特別養護老人ホーム「延寿苑」の方々との交流をしています。今年は1学期に1回、2学期に2回の交流活動を行いました。自分たちで考え、制作したゲームと一緒に楽しんだり、ベッドメイキングや車いすの体験や補助の仕方を学んだりしました。

また、2学期の終わりには、「延寿苑」の方々に、1人1人が心を込めた手作りの年賀状を送りました。3学期には、学習発表会の招待状や新聞づくりをするなどして、さらに交流を深めています。



大牟田市立大牟田特別支援学校の実践

交流及び共同学習(有明高専交流)を通して

大牟田特別支援学校では「交流及び共同学習」を通して、他の人と自分とのつながりを大切にしようとする態度や、自分の気持ちや考えを伝える力を育成しています。

9月12日に行われた有明高専との音楽交流会は、有明高専吹奏楽部の学生と大牟田特別支援学校生徒がお互いに演奏を聴いたり、合同演奏(合唱)をしたりしました。この交流は今回で20年目を迎えました。また、2月には特別支援学校の作業学習を通して、有明高専の学生に製品作りを一緒に体験してもらう作業交流会を行う予定です。

交流を重ねていくごとに、生徒たちは、他の人と触れ合うことの喜びを味わうとともに、周囲の人たちとつながろうとする意欲を高めることができているようです。

